

あ お も り

町村 自治

2025 **10** No.1248

令和7年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
知事と市町村長との協議の場（町村の部）	4
保健師インターンシップ促進支援事業	6
いまが旬！	8
エッセイ 六ヶ所村長 戸田 衛 氏	12



食べる、歩く、感じる、六ヶ所村

ろっかしょむら
六ヶ所村

六ヶ所村では、そばや長芋、ごぼうなど旬の特産品が味わえる季節を迎えています。
秋の味覚を楽しむだけでなく、泊地区にある『とまりのトトロ岩』をはじめとする名所を散策しながら、六ヶ所村ならではの秋の空気を五感で感じてみてはいかがでしょうか。

本会定期総会を開催



令和6年度決算等を審議した定期総会



あいさつする濱館会長

本会は8月21日、鱒ヶ沢町のホテルグランメール山海荘で第2回定期総会を開催した。令和6年度本会会務報告、収入支出決算などを原案どおり承認、決定した。定期総会には町村長29人が出席した。

総会の冒頭に濱館会長からあいさつがあり、最近の活動が報告された。報告では、知事に町村が苦慮している情報システムに関する支援を要請したこと、また、北海道東北六県町村会協議会として総務省、デジタル庁などに要請活動を行ったことなどに言及し、「今後とも直面する様々な課題の解決に向け、本県町村の声を全国に届けていく。より一層のご支援・ご協力をお願いする」と述べた。

引き続き、濱館会長が議長となつて議事に入つた。令和6年度の会務報告や収支決算など議案3件を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、総会終了後には日本郵便株式会社から「郵便局と地方創生」と題し説明があり、郵便局の受託業務を紹介の上、町村長に活用を呼び掛けた。総会議事の概要は次のとおり。

○議案第1号 令和6年度青森県町村会会務報告

①少子高齢化や若者の人口流出、気象災害の頻発や諸物価の高騰などにより町村を取り巻く環境が厳しさを増す中、地方創生の推進や町村財政基盤の確立など、町村が抱える諸課題の解決に向けて、県、全国町村会及び関係団体との緊密な連携のうえ、積極的に実施した。

②提言・要望に関して、県、市長会と合同で令和7年度重点施策提案について国会議員に説明し、総務省など関係省庁等へ提案書を提出した。また、知事と市町村長との協議の場において県政に対する提言書を提出したほか、道路除

排雪経費に対する特別交付税の配分に係る要望活動及び令和6年12月からの豪雪による農業被害対策に係る要望を県、市長会と合同で行った。

③ 財務調査委員会に関して、町村財政の安定等のための負担金等委員会は、法令外44団体の負担金、寄付金等を協議・決定した。

④ 町村の魅力発信事業の助成に関して、本県町村の魅力をより一層高め全国に発信する必要があることから、(公財)青森県市町村振興協会の助成を受け、町村が実施する事業に対し助成金を交付し支援した。

⑤ 30町村の魅力を継続的に県民に周知するため、県内地元3紙に各町村の魅力を広く伝える特集紙面「Discover My Aomori 私たちの30町村にいらっしやいませ」を掲載した。また、町村の専門人材の確保に向けて「町村の専門人材の確保に関する連絡会議」を設置し、会議を開催した。

⑥ 町村長の健康管理の一環として、例年どおり総合健診を実施したほか、脳ドック検診を受診した町村長に対して助

成金を交付する町村長脳ドック助成制度を実施した。

⑦ 本会事業運営の基盤である各種共済事業の推進や、自治功労者表彰の実施、各種研修、町村職員採用試験、広報活動などを事業計画に基づいて実施したほか、本会に事務局を置く各団体も含めて、積極的な協力・協調体制で事業を実施した。(事項別概要略)

○ 議案第2号 令和6年度一般会計決算の概要は、収入済総額2億9547万3611円、支出済総額2億7726万6972円で、差引き1820万6639円の残額を生じ、このうち財政調整基金規程第2条の定めるところにより、920万円を基金へ繰り入れ、残額900万6639円を翌年度へ繰り越すものである。

○ 議案第3号 令和6年度特別会計決算の概要は、収入済総額4962万3977円、支出済総額4619万1224円で、差引利益259万5853円により純資産295万629円となり、一般会計に200万円を繰り出すものである。

定期総会 提案事項等 を決定

第3回理事会を開催

本会は定期総会に先立つ7月28日、青森市の県共同ビルで第3回理事会を開催した。出席者は、濱館会長をはじめ役員町村長11人。理事会では、令和6年度本会会務報告、一般会計収支決算の認定など議案3件の審議と、本会定期総会に併せて県主催で実施する知事と市町村長との協議の場での本会からの意見交換テーマなどの協議事項3件をそれぞれ原案どおり承認、決定した。会務報告及び収支決算等は、定期総会に提案することとした。



○ 議案第2号 令和6年度本一般会計収支決算について同意を求めるの件
○ 議案第3号 令和6年度本会公有物件共済事業等特別会計収入支出決算について同意を求めるの件
協議事項
○ 協議事項1 令和7年度知事と市町村長との協議の場(町村の部)について
○ 協議事項2 令和7年度県

6年度の 決算を認定

生協支部委員会

政に対する提言について
○ 協議事項3 令和7年度町村長行政調査研修について

全国町村職員生活協同組合県支部は、本会理事会終了後、第2回委員会を開催した。委員会では、同支部の令和6年度収支決算など議案2件を審議し、原案どおり承認、決定した。

協議事項
○ 議案第1号 令和6年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計収入支出決算について認定を求めるの件
○ 議案第2号 令和7年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算(補正第1号)案

地域医療の確保・充実に 向け共通理解を図る

知事と市町村長との協議の場

8月21日、本会定期総会【2ページ】に引き続き、県主催で「知事と市町村長との協議の場（町村の部）」が開催された。本会の出席者は演館会長はじめ27人。

県政への提言書を手交した。引き続き意見交換では、「地域医療の確保・充実」をテーマに、活発な議論が行われた。

■町村部の現状と課題

冒頭の宮下知事のあいさつに続き、本会の演館会長が宮下知事に対し11項目にわたる

意見交換のはじめに、演館会長が本県町村の現状を説明した。医師偏在指標が全国で2番目に低位な本県にあって、特に町村部の公立病院では常勤医師数が8人以下と深刻であることや、近年の物価・資材高騰や人件費引き上げを背景に経営状況が悪化している状況を説明した。



宮下知事に提言書を手交する演館会長

また、人口と医療・介護需要の将来推計を示し、本県では人口減少に伴い長期的には医療・介護需要が減少する見通しを説明した上で、今後を見据えた方向性として、ICT・

医療DXの実装とオンライン診療の推進について述べ、中泊町の2事例を紹介した。

■中泊町のオンライン診療事例

事例

中泊町では、今年7月からグループオンライン診療を開始した。町内にはオンライン診療を受診するのが難しい高齢者が多いことから、町内の温浴施設と青森市内の整形外科をオンラインで結び、スタッフが機器の補助をする形で運用していることを紹介した。

これに対し宮下知事は、「中泊町のオンライン診療は全国的に見ても優れた取り組み。



演館会長が本県町村の医療の現状を説明

【令和7年度県政に対する提言項目】

- 1 町村財政基盤の充実強化について
- 2 地方創生・人口減少対策に向けた支援について
- 3 持続可能な地域公共交通の確保・維持について
- 4 デジタル化施策の推進について
- 5 医療・保健・福祉・こども・子育て施策の推進について
- 6 町村の専門人材の確保について
- 7 農林水産業の振興について
- 8 社会基盤の整備促進等について
- 9 外国人の土地売買を制限する対策等の検討について
- 10 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について
- 11 教育施策等の推進について



意見を述べる宮下知事

■医師確保に向けた取り組みと意見

知事からは、県が弘前大学や県立中央病院と3者協議で医師の派遣に取り組んでいることが紹介された。

また、町村長からは、医師の定着に向けたスキルアッププログラムの充実、医学生への経営教育、地域医療に携わる医師へのインセンティブ付与、医師数のバランスなどについて意見が述べられ、それぞれに知事から意見が述べられた。



小野寺自由民主党政務調査会長（中央右）

地方創生の推進 などを要請

北海道東北六県町村会協議会



鈴木復興副大臣（中央右）



原総務省総務事務次官（中央右）



出口総務省自治財政局長（中央左）

北海道東北六県町村会協議会（会長＝棚野北海道町村会長）は、7月25日に東京都内で、令和8年度政府予算編成並びに施策に関する要請及び東日本大震災に関する特別要請活動を行った。

要請活動には各道県の会長等が出席し、本会からは濱館会長が出席した。当日は、原総務省総務事務次官、出口総務省自治財政局長、鈴木復興

副大臣、小野寺自由民主党政務調査会長のほか、デジタル庁幹部職員に提案書を提出し、要望項目の実現を強く求めた。要請項目は次のとおり。

令和8年度政府予算編成並びに施策に関する要請

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村自治の確立について
- 3 町村財政基盤の強化について
- 4 地方公共団体情報システム標準化について
- 5 マイナンバーカードの安全・安定的な運用について
- 6 防災・減災、国土強靱化対策について
- 7 地域医療の充実について
- 8 少子化社会対策の推進について
- 9 農業・農村対策の推進について
- 10 森林・林業対策の推進について
- 11 水産業対策の推進について
- 12 脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの積極的な活用について
- 13 持続的な鉄道網の確立について（①東北・②北海道）
- 14 新幹線鉄道の建設促進及び並行在来線への財政支援について
- 15 道路網の整備促進及び生活交通路線の維持・確保について
- 16 北方領土の早期返還について

全国町村会役員改選 濱館会長が監事に就任

全国町村会は7月24日、全国町村会館で開催した理事会で、任期満了に伴う副会長及び監事の選任を行い、本会の濱館会長を監事に選任した。任期は令和7年7月31日から2年間。

なお、会長には北海道町村会の棚野会長が7月1日の理事会において第23代会長に選任されている。

保健師を目指す学生を支援



■インターンシップ参加に

交通費・宿泊費を支援

本会では令和7年度、「青森県内町村保健師インターンシップ促進支援事業」を実施している。県内町村へ保健師として就職することを検討している学生を対象に、インターンシップ参加に要する交通費や宿泊費を助成し、町村での保健師採用につなげることを目的としている。

■深刻化する保健師採用難

近年、町村における専門職採用は年々難しくなっており、特に保健師をはじめとした医療専門職は募集したものの応募がない町村が増加している。本会で取りまとめている職員採用試験では、応募がなかった町村は平成25年には1町村だったが、令和5年度には10町村、令和6年度も8町村と高止まりの状況が続いている。また、応募はあっても受験辞

青森県町村長等名簿

令和7年10月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長 氏 名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	4	R 9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9.18	2	R 8. 7.23	飯田哲
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	3	R11. 4.23	松橋稔
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	3	R 7.11. 8	小松生佳
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	2	R 7.12.26	加藤隆之
	深浦町	平沢一臣	S49. 9.21	1	R10.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	2	R11. 2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	4	R 9.11.19	三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	4	R 8. 7.21	
	田舎館村	品川新一	S27. 2.21	1	R10.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R 8. 8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	3	R11. 4.23	三上晃瑠
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	2	R 9.10.26	江刺家和夫
	七戸町	田嶋邦貴	S36. 7.29	1	R11. 4.23	仁和圭昭
	六戸町	佐藤陽大	S48.11. 4	1	R10. 1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	2	R10.12.11	菊池義規
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	2	R11. 4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	3	R 8. 3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	3	R 8. 7. 6	橋本晋
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	2	R11. 1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37. 7.14	2	R11. 4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	3	R11. 2.18	
	佐井村	太田直樹	S50. 7.14	1	R 8. 4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	沼澤修二	S42. 4.25	1	R10.11.16	本宿貴一
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R 9. 6.26	
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	4	R10. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	7	R 8. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45. 4.24	1	R 7.12.23	澤田充
	新郷村	佐藤和友	S43. 9.18	1	R11. 5.28	横田堅悦

退や内定辞退をする受験者もあり、採用に苦慮している。

■30町村連絡会議で対応を検討

こうした状況を受け、本会

では令和6年度に県内30町村で構成する「町村の専門人材の確保に関する連絡会議」を設置し、今後の取り組みの方向性を検討した。検討の結果、特に採用が困難な保健師につ

いて、インターシップは職業選択のインセンティブとなり得ることから、町村は学生の実習受け入れの取り組み促進とインターシップへの取り組みを強化するとともに、本会はインターシップに取り組み学生への経費面での支援を行うこととし、本事業の実施に至った。

■県内18町村でインターシップ受け入れ可能

9月末現在、インターシップの受け入れが可能な町村は18町村（本会まとめ）で、

多くの町村が受け入れ可能日数を1〜2日間、受け入れ期間に相談に応じることでしている。

本会では、受け入れ可能な町村のリストを作成の上、県立保健大学をはじめとする県内保健師養成校に段階的に事業を周知している。

■現場の保健師から

メッセージ

受け入れリストには各町村の保健師によるコメントも掲載しており、どの町村からも学生への温かいメッセージが寄せられている。

この受け入れリストは本会ホームページ新着情報に掲載の「交通費と宿泊費を支援します【町村保健師インターシップ】」(http://www.aomori-chousonkai.jp/blog/perma_1191.html)で閲覧可能。※パソコンからの閲覧を推奨。

メッセージ
(一部抜粋)

- ・小規模な町ならしではの住民と近い距離で、妊娠期から高齢者まで生涯を通じた保健活動を行うことができます。
- ・百聞は一見に如かず！まずは現場で保健師業務を体験してみませんか？
- ・保健師としてやりがいを感じています。気軽に応募ください。

令和7年度全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表

月 日	時間	大会・会議等	会 場	主 催 者
10月29日 (水)	12:00	半島振興対策促進大会	J A 共済ビル カンファレンスホール	全国半島振興市町村協議会 他
10月30日 (木)	13:00	都市基盤整備事業推進大会	砂防会館 別館	全国街路事業促進協議会 全国土地画整理事業推進協議会 都市再開発促進協議会 全国連続立体交差事業促進協議会
11月5日 (水)	13:00	安全・安心の道づくりを求める全国大会	砂防会館 別館	全国道路利用者会議 道路整備促進期成同盟会全国協議会 全国高速道路建設協議会 全国街路事業促進協議会
11月10日 (月)	13:30	災害復旧促進全国大会	砂防会館 別館	全国防災協会
11月11日 (火)	14:30	治水事業促進全国大会	砂防会館 別館	全国治水期成同盟会連合会
11月12日 (水)	12:00	第69回町村議会議長全国大会	NHKホール	全国町村議会議長会
11月13日 (木)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館 別館	全国治水砂防協会
11月14日 (金)	13:00	国保制度改善強化全国大会	砂防会館 別館	国民健康保険中央会
11月17日 (月)	12:00	全国過疎地域連盟第60回総会	ニッショーホール	全国過疎地域連盟
11月18日 (火)	17:30	令和7年第2回青森県町村会臨時総会 (予定)	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月18日 (火)	18:00	県選出国議員との懇談会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月19日 (水)	12:00	全国町村長大会	NHKホール	全国町村会 (行政部)
11月19日 (水)	15:00	北東北三県町村長中央研修会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月19日 (水)	16:45	北東北三県町村長中央交流会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月19日 (水)	15:00	全国防災・危機管理トップセミナー	ビジョンセンター東京 虎ノ門	総務省消防庁国民保護・防災部防災課
11月20日 (木)	10:00	水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会	全国町村会館	全国市町村水産業振興対策協議会
11月20日 (木)	10:30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	全国山村振興連盟
11月20日 (木)	13:00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	(公財)日本環境整備 教育センター	全国浄化槽推進市町村協議会
11月20日 (木)	14:00	全国観光地所在町村協議会総会	全国町村会館	全国観光地所在町村協議会
11月21日 (金)	10:00	第70回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館 別館	全国簡易水道協議会



問い合わせ先 道の駅いまべつ半島プラザアスクル
TEL 0174-31-5200

これ1本で味がグレードアップ! 手軽さで有名なアウトドアスパイスほりにしの青森県ご当地ver.は今別町だけで売っています。

荒馬まつりを思い出すような荒馬と花火のイラストが描かれたオレンジ色のラベルです。秋のキャンプシーズンへ向けて1本いかがですか?

道の駅いまべつ半島プラザアスクルと海峡の家ほろづきで販売中です。

青森県でここだけ! 『ど当地ほりにし』売っています

いまが旬!
いまべつまつり
今別町

東津軽郡



問い合わせ先 白神十二湖エコ・ミュージアム
TEL 0173-77-3113

白神山地の西麓にある十二湖は、10月中旬頃から黄葉が始まります。ブナをはじめとする十二湖の木々は黄色く色づき、湖面に浮かぶ葉はまるで金箔のようです。10月25日(土)には「秋の十二湖33湖めぐり」を開催予定。ガイドさんと楽しくトレッキングできます。ぜひ、湖と黄葉を見に、十二湖へお越しください。

秋の白神山地・十二湖

いまが旬!
ふかうらまつり
深浦町

西津軽郡



問い合わせ先 板柳町ふるさとセンター
TEL 0172-72-1500

「学んで、遊んで、泊まれる」がコンセプトの板柳町ふるさとセンターは、りんご資料展示室や、りんごを使ったお菓子作りや陶芸体験など、りんごにまつわるコンテンツが豊富。温泉・レストランのほかに、売店・喫茶室の「りんごソフトクリーム」が人気。総ヒバ造りのコテージは温泉付き。農産物直売所や無料の足湯も。皆さまのお越しをお待ちしています。

学んで、遊んで、泊まれる
板柳町ふるさとセンター

いまが旬!
いたやなぎまつり
板柳町

北津軽郡



問い合わせ先 野辺地町観光協会
TEL 0175-64-9555

野辺地町では、藩政時代に北前船で上方から伝えられた河原決明(かわらけつめい)を焙じて作る「河原決明(かわらけつめい)茶」を薬草茶として昔から愛飲しています。また、野辺地駅に隣接している観光物産PRセンターでは茶葉を素材に加えたお菓子や麺も販売しています。野辺地町へお越しの際は、河原決明(かわらけつめい)の味を堪能してみませんか?

施設開館時間: 9時から19時半まで
売店: 9時から17時まで

河原決明(かわらけつめい)を保存しですか? 野辺地町観光物産PRセンター

いまが旬!
のへしまつり
野辺地町

上北郡

いまが旬!

横浜町

よこはままち

上北郡

太鼓や笛、鐘が響きわたる
八幡神社例大祭

八幡神社例大祭は、毎年9月に行われる歴史あるお祭りです。今年は14日(日)～18日(木)に行われました。横浜町内各地区の神楽団が太鼓、笛、鐘等の楽器を鳴らしながら、街中を歩きます。最終日には、町の商店街において全神楽団による一斉祈禱舞が行われます。

ぜひ秋は友人等をお誘いの上、横浜町へお越しください!!



問い合わせ先 横浜町役場 産業振興課
TEL 0175-78-2111

いまが旬!

南部町

なんぶちょう

三戸郡

青森県と岩手県北から鍋料理
理が集結!あおもり鍋自慢!

令和7年10月19日、南部町に青森県内と岩手県北、群馬県みどり市から21種類の鍋料理が集結します!ステージイベントでは、スペシャルゲストとしてお笑い芸人の「りんごちゃん」が登場予定です。そのほかにも参加市町村自慢の鍋のPRや南部町の芸能の披露もあります。是非お越しください。

イベント名:あおもり鍋自慢

日時:令和7年10月19日(日)
9:00~15:00(雨天決行)

会場:南部町役場庁舎周辺



問い合わせ先 南部町観光協会
TEL 0178-38-5965

いまが旬!

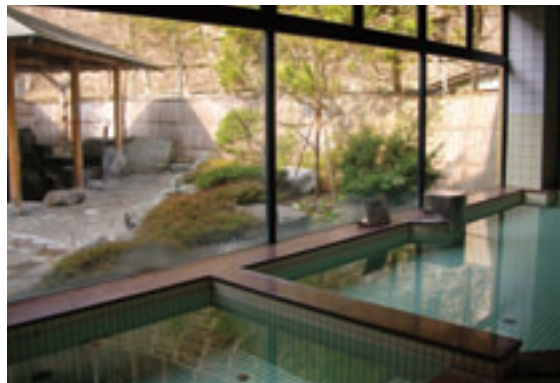
新郷村

しんきょうむら

三戸郡

ここからだの癒し空間
驚の湯へようこそ

村の山あいにもこんこんと湧き出ているのは、昔むかし獵師に羽を射抜かれた大鷲がその傷を癒したとされる秘湯。南部地方では数少ない硫黄泉で、効能は神経痛、関節痛、皮膚病など。源泉の野沢温泉は、遠方からの入浴客も絶えない隠れた人気の公衆浴場です。源泉を使用した新郷温泉館は、広々とした浴室やサウナ、露天風呂が楽しめます。やすらぎのひと時をお過ごしください。



問い合わせ先 新郷温泉館
TEL 0178-78-3050

●お知らせとお願い

「あおもり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載!

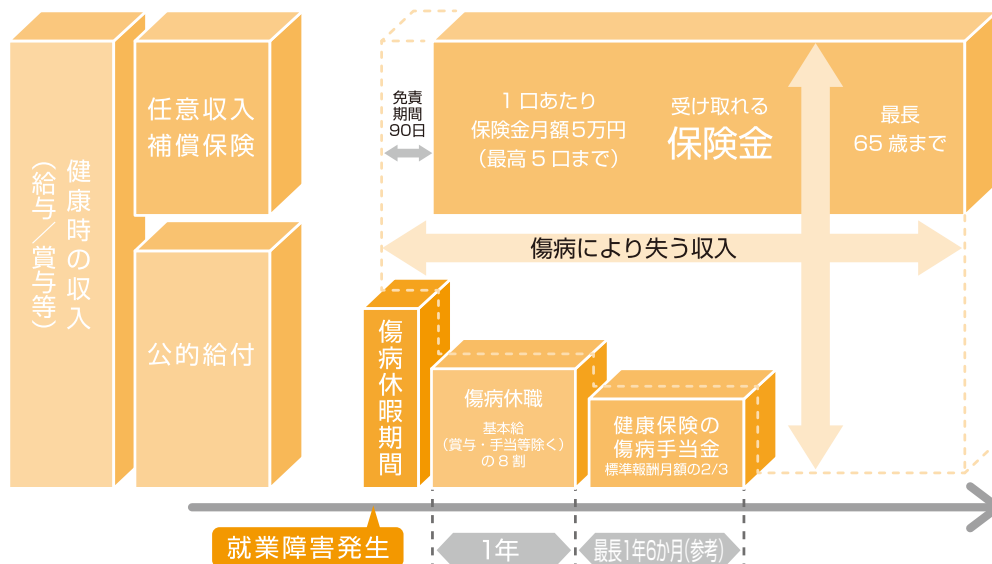
各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

任意収入補償保険

精神疾患を原因とする場合も補償！

ケガ・病気で長期間働けなくなり収入が減少した場合、最長65歳まで保険金が支払われます。

補償のイメージ



月払掛金 (1口 = 保険金月額5万円あたり)

年齢・性別	男性	女性	年齢・性別	男性	女性
15~24歳	467円	357円	45~49歳	1,579円	1,867円
25~29歳	495円	501円	50~54歳	2,093円	2,360円
30~34歳	602円	671円	55~59歳	2,490円	2,535円
35~39歳	784円	972円	60~64歳	2,362円	2,163円
40~44歳	1,112円	1,327円			

新規加入募集 お申し込みは令和7年10月



財産形成や老後の生活資金確保のために

個人年金共済

- ◆在職中に掛金を払込み、退職時に受取方法を選択できます
 - ◆在職中に脱退された場合でも、脱退一時金を受け取ることができますので、教育・結婚資金などの効率的な準備手段としても活用できます
- ※脱退後、通常の募集時に再加入できます

加入コース ※いずれか1つのコースに加入することも、両方のコースに加入することもできます。

税制適格コース	保険料は「個人年金保険料控除」対象
一般コース	保険料は「一般生命保険料控除」対象

掛金 ※払込方法は「月払」と「月払・ボーナス払(半年払)の併用」の2つがあります。

掛金	月払 (4月契約開始)	ボーナス払 (6月契約開始)
	1口 : 2,000円 (1~50口)	1口 : 10,000円 (1~50口)

積立金の運用 積立金は、予定金利に基づき運用します。運用実績が予定金利を上回る場合は、その上回った部分から配当金として積立金に加算します。

給付内容

- 配偶者年金付終身年金(15年保証期間付)
- 終身年金(15年保証期間付)
- 15年確定年金
- 10年確定年金
- 5年確定年金(一般コース)
- 一時金受取り

新規加入募集 お申し込みは令和7年12月



任意共済

「任意共済」は任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険をまとめた名称です

【任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険】

- ◆「死亡や高度障がい」「入院や手術」「病気・ケガによる長期にわたる収入減少」に備える、全国町村会の団体割引が適用された保険です
- ◆ライフプランに合わせて、3つの保険から必要なものを選んで加入することができます

毎年の収支を計算し、剰余が生じたときは配当金として還付！
加入時の医師の診査不要、健康状態の告知のみで加入可能！

任意生命保険

職員・配偶者・子どもが死亡または高度障がいになった場合に保険金が支払われます。

保険金の種類

支払事由	支払われる保険金
疾病による死亡(高度障がい)の場合	死亡保険金(高度障がい保険金)
不慮の事故による死亡(高度障がい)の場合	死亡保険金+災害保険金(高度障がい保険金+災害高度障がい保険金)

保険金額は3,000万円・2,500万円・2,000万円・1,500万円・1,000万円・800万円・600万円・400万円・200万円から選択できます。*配偶者は、1,000万円以下から、子どもは400万円以下から選択

月払掛金の例

保険金額		3,000万円	2,000万円	1,000万円	600万円	200万円
男性	15~35歳	3,600円	2,400円	1,200円	720円	240円
	36~40歳	4,290円	2,860円	1,430円	858円	286円
	41~45歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円
	46~50歳	7,170円	4,780円	2,390円	1,434円	478円
女性	15~35歳	2,430円	1,620円	810円	486円	162円
	36~40歳	3,450円	2,300円	1,150円	690円	230円
	41~45歳	4,050円	2,700円	1,350円	810円	270円
	46~50歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円

任意医療保険

職員・配偶者・子どもが入院・手術した場合、日数や内容に応じ給付金が支払われます。

主な給付金の種類

給付の名称	支払事由	支払金額
入院給付金	ケガや病気により1泊2日以上継続して入院したとき	入院給付金日額×入院日数
入院療養給付金	入院給付金が支払われる入院をしたとき	入院給付金日額×5
手術給付金(20倍)	1泊2日以上継続した入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術等を受けたとき	入院給付金日額×20
手術給付金(5倍)	外来または日帰り入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術等を受けたとき	入院給付金日額×5

入院給付金日額は12,000円・10,000円・8,000円・5,000円・3,000円から選択できます。
*職員は5,000円以上から、配偶者は10,000円以下から、子どもは5,000円以下から選択

月払掛金の例

入院給付金日額	12,000円	10,000円	5,000円	3,000円
20~24歳	2,292円	1,910円	955円	573円
25~29歳	2,832円	2,360円	1,180円	708円
30~34歳	3,084円	2,570円	1,285円	771円
35~39歳	3,204円	2,670円	1,335円	801円
40~44歳	3,420円	2,850円	1,425円	855円
45~49歳	4,032円	3,360円	1,680円	1,008円

村民に豊かな生活を

提供して半世紀

六ヶ所村は、下北半島の付け根に位置し、豊かな海岸や湖沼群、丘陵地などに恵まれた特徴的な地形を有する地域で、古くから漁業・農業・酪農などの第一次産業を基盤に栄えてまいりました。

1960年代末に計画された「むつ小川原開発計画」を契機に、2度のオイルショックを乗り越え、1985年に国内初の国家石油備蓄基地が設置されるなど、エネルギー分野の先駆的役割を担っております。



また、電源三法成立以降は、全国各地で原子力発電所が展開される中、当村には原子燃料サイクル施設（再処理工場やウラン濃縮工場など）が建設されました。近年は再生可能エネルギーにも注力し、73

基の風力発電施設（162、900kW）や大規模太陽光発電設備（168、000kW）が稼働しております。さらに、核融合エネルギーの研究開発も進められており、今後の持続可能なエネルギー供給の実現を目指しております。

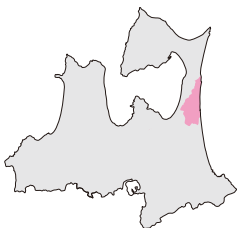
このように、「むつ小川原開発計画」開始から約半世紀を経て、時代の変化に合わせた多様なエネルギー関連施設が整備され、唯一無二の地域に変貌してまいりました。

村の特産品としては、長いも、ゴボウ、シジミ、ウニ、アワビ、海藻類などの一次産品に加え、長いも焼酎「六趣」などをはじめ、特産品を原料に開発された商品が多数存在しております。これらは特産



六ヶ所村長

まもる 衛
と だ 戸 田



下北半島の付け根にある六ヶ所村は、5つの湖沼と太平洋、そして森と大地が織りなす自然豊かな風景が広がる村。風力発電施設をはじめ、最先端のエネルギーに関する施設が立地する全国でも珍しい地域。



品販売所「六旬館」などで販売され、特に、ウニは、「泊ウニ」としてブランド化が進められ、全国放送番組で取り上げられるなど高評価を得ております。

さらに、コンサートホールや図書館を併設した文化交流プラザ「スワニー」は、村のシンボリックな複合施設として、村内外からご利用いただいております。スパハウス「ろっかぽっか」や屋内温水プール「ろっぶ」といった公共施設の充実にも努め、汚水処理普及率は約98パーセントに向上しております。

未曾有の大規模災害「東日本大震災」を教訓に、村内の指定避難所には非常用発電機を設置し、防災資機材庫の整備及び村民用の非常食の備蓄にも万全を期しております。

現在の役場庁舎が津波浸水エリアに位置していることから、あらゆる災害に強い庁舎を目指し、令和13年度の供用開始

を目処に新庁舎の新築移転計画にも着手しております。このように、六ヶ所村は豊かな自然と多様なエネルギー産業が共存する地域として、村民に豊かな生活を

提供するまちづくりに取り組んでまいりました。近年の大規模災害や異常気象を背景に、村としていち早く「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ

を目指す取り組みも進めております。私は、国内の電源構成の約7割を占める火力発電に代わるエネルギー源として、化石燃料を使わず無限のエネルギー供給が可能で、かつ発電時に二酸化炭素を排出しない「核融合発電」の早期実現が極めて重要であると考えて

おります。その実現に向け、2050年までの実用化を目指すしつつ、研究開発を一層加速させ、カーボンニュートラル社会の実現に貢献できると確信しております。

そして、その拠点として六ヶ所村の「むつ小川原開発区域」への施設建設を、関係機関・関係団体と一致団結して推進してまいりたいと考えています。